

令和4年4月27日

報道関係各位

【国立劇場】
『尾上菊之助の歌舞伎舞踊入門』
4月29日（金）より再配信いたします



『京鹿子娘道成寺』を語る」より

国立劇場では、伝統芸能をより深く知っていただくため、その魅力や特徴を楽しみながら、分かりやすくご紹介する入門動画を制作しています。

『尾上菊之助の歌舞伎舞踊入門』は、人気・実力を兼ね備えた歌舞伎俳優の尾上菊之助を迎え、歌舞伎舞踊の魅力余すところなく伝えるコンテンツです。本コンテンツは今年の3月25日から31日までの一週間の配信でしたが、内容の分かりやすさと、通常では見ることのできない舞台裏での姿や、作品にのぞむ菊之助の思いに対して、視聴したお客様から非常に大きな反響をいただきました。

配信終了後も「配信を見逃してしまった」「もう一度じっくりと見たい」という、お客様から再配信を望む声が数多く寄せられたことから、4月29日より再配信を行うこととなりました。

報道各位におかれましては、本件の一般の皆様への周知にご協力をお願いします。

【本件に関するお問い合わせ】

国立劇場 宣伝課 担当：三浦每生（みうらつねお）

TEL 03-3265-6163

FAX 03-3265-8872

E-Mail: tsuneo-m@ntj.jac.go.jp

独立行政法人 日本芸術文化振興会



歌舞伎舞踊の二大人気曲「^{むすめどうじょうじ}娘道成寺」と「^{かがみじし}鏡獅子」

今回取り上げるのは、数ある歌舞伎舞踊でも特に人気が高い、「京鹿子娘道成寺」と「春興鏡獅子」の二曲。舞台映像は、これまで長きにわたり菊之助の岳父・2代目中村吉右衛門をカメラに収めてきたフォトグラファ―・鍋島徳恭氏による、この配信のための完全撮りおろしです。

多数のカメラによる映像は、圧倒的な臨場感と、時に通常の観劇では観ることのできない細部に至るまで、菊之助の踊りを捉えています。



「京鹿子娘道成寺」より



「新歌舞伎十八番の内 春興鏡獅子」より

尾上菊之助が語る歌舞伎舞踊の“秘密”

尾上菊之助による解説は、踊り手として作品全体を紐解いていきます。菊之助が詞章から何を考え、そしてどんな思いを込めて作品を踊っているのか。化粧をする風景や、舞台袖での拵え、稽古場での姿や楽屋での様子など、舞台裏の映像をふんだんに交え、歌舞伎舞踊の“秘密”が明かされていく様子は、観る者の興味を誘います。

舞台を観ると、その裏を知りたくなる。その“秘密”を知れば、また舞台が観たくなる。解説編と舞踊本編をあわせてご覧いただくことで、興味と理解が何倍にも増すことでしょう。

歌舞伎舞踊を知らない初心者の方はもちろん、歌舞伎ファンも必見の贅沢なコンテンツです。



「『春興鏡獅子』を語る」より

国立劇場 宣伝課 担当:三浦每生(みうらつねお)

TEL 03-3265-6163

FAX 03-3265-8872

E-Mail: tsuneo-m@ntj.jac.go.jp

独立行政法人 日本芸術文化振興会

 **国立劇場**

作品解説

「新歌舞伎十八番の内 しゅんきょうかがみ じ し 春興鏡獅子」

福地桜痴作。明治 26 年(1893 年)3 月、東京・歌舞伎座にて、九代目市川団十郎によって初演された、歌舞伎舞踊の人気作。

大奥のお小姓弥生が、所作事を踊るうちに、獅子の精が乗り移る。

前半の女方の艶やかな舞と、後半の獅子に転じてからの長い毛を振るっての豪快な「毛ぶり」が見どころ。

九代目団十郎により「新歌舞伎十八番」の一つとされ、その後、菊之助の曾祖父にあたる六代目尾上菊五郎が団十郎から継承し、人気舞踊となった。

国立劇場ロビーには、六代目菊五郎をモデルにした平櫛田中作の鏡獅子の像が展示してある。

「きょうがのこむすめどうじょうじ 京鹿子娘道成寺」

安珍・清姫伝説を題材にした数ある「道成寺物」と呼ばれる作品を集大成し、宝暦3年(1753年)3月、江戸中村座にて、初代中村富十郎により上演された。

紀州道成寺の鐘供養へ現れた白拍子の花子は、舞を舞ううち、鐘に飛び込み、蛇体となってあらわれる。花子は実はかつて道成寺の鐘の中に隠れた安珍を焼き殺した清姫の化身でした。

一人の俳優が一時間に渡って踊り抜く女方舞踊の大曲で、引き抜きによる衣裳替えや、花笠、鞆鼓、鈴太鼓など数々の小道具を駆使し、女方の姿を堪能できる人気曲である。

「鏡獅子」同様、六代目菊五郎が名演を残した。

出演者プロフィール

「おのえきくのすけ 尾上菊之助」



1977 年 8 月 1 日生まれ。屋号は音羽屋。

尾上菊五郎の長男。母は女優の富司純子。姉は女優の寺島しのぶ。

1984 年 2 月歌舞伎座『絵本牛若丸』の牛若丸で六代目尾上丑之助を名のり初舞台。1996 年 5 月歌舞伎座『白浪五人男』の弁天小僧ほかで五代目尾上菊之助を襲名。

2005 年第十二回読売演劇大賞杉村春子賞。同年重要無形文化財（総合認定）に認定され、伝統歌舞伎保存会会員となる。2006 年芸術選奨文部科学大臣新人賞。同年第五回朝日舞台芸術賞寺山修司賞。同年第十三回読売演劇大賞優秀男優賞。以後も数々の演劇賞を受賞。

最近では、NHK テレビ小説「カムカムエヴリバディ」の桃山剣之介（モケン）役が話題となった。

国立劇場 宣伝課 担当:三浦每生(みうらつねお)

TEL 03-3265-6163

FAX 03-3265-8872

E-Mail: tsuneo-m@ntj.jac.go.jp

独立行政法人 日本芸術文化振興会



尾上菊之助の歌舞伎舞踊入門

- ① 【解説編】『春興鏡獅子』を語る(約 30 分)
- ② 【舞踊本編】『新歌舞伎十八番の内 春興鏡獅子』(約 55 分)



- ③ 【解説編】『京鹿子娘道成寺』を語る(約 30 分)
- ④ 【舞踊本編】『京鹿子娘道成寺』(約 55 分)



【配信期間・販売期間】

令和4年4月29日(金・祝)10:00 ~ 5月31日(火)23:59

※購入から一週間、何度でもご視聴いただけます。

【視聴チケット料金】

【解説編】(①、③) 各 500円(税込)

【舞踊本編】(②、④) 各 2,800円(税込)

『春興鏡獅子』まとめパック(【解説編】+【舞踊本編】)(①+②) 3,000円(税込)

『京鹿子娘道成寺』まとめパック(【解説編】+【舞踊本編】)(③+④) 3,000円(税込)

【配信場所】 「MIRAIL」(ミレール) <https://mirail.video>

国立劇場 宣伝課 担当:三浦每生(みうらつねお)

TEL 03-3265-6163

FAX 03-3265-8872

E-Mail: tsuneo-m@ntj.jac.go.jp

独立行政法人 日本芸術文化振興会

 **国立劇場**